令和５年度
学 生 募 集 要 項
－美術工芸学部－
［一　般　選　抜］
［私費外国人留学生選抜］

□障がいを有する等の入学志願者との事前相談の申し出期限
　令和５年１月19日（木）午後５時まで

□出願期間（前期日程試験・後期日程試験共通）
　令和５年１月23日（月）～２月３日（金）
　※２月３日（金）郵送発信局消印有効
　※前期日程・後期日程の両方に出願する場合は、それぞれ出願書類を作成し個別に出願すること。

□試験日程
（前期日程試験）○絵　画　専　攻：令和５年２月25日（土）～２月27日（月）
　　○彫　刻　専　攻：令和５年２月25日（土）～２月27日（月）
　　○芸 術 学 専 攻：令和５年２月25日（土）～２月27日（月）
　　○デザイン専攻：令和５年２月25日（土）～２月27日（月）
　　○工　芸　専　攻：令和５年２月25日（土）～２月27日（月）
（後期日程試験）○絵　画　専　攻：令和５年３月12日（日）～３月14日（火）
　　○彫　刻　専　攻：令和５年３月12日（日）～３月14日（火）
　　○工　芸　専　攻：令和５年３月12日（日）～３月14日（火）
（追試験）　　○全　　専　　攻：令和５年３月23日（木）、24日（金）

□合格者の発表
（前期日程試験）
令和５年３月６日（月）午後２時　※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）
（後期日程試験）
令和５年３月20日（月）午前10時　※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）
（追試験）
令和５年３月28日（火）午前10時　※本学ホームページ掲載（合格通知書の発送）

□入学手続期間
（前期日程試験）
　令和５年３月８日（水）～３月15日（水）※３月15日（水）午後５時までに必着
（後期日程試験）
　令和５年３月22日（水）～３月27日（月）※３月27日（月）午後５時までに必着

◇今年度は、後期日程の絵画専攻及び工芸専攻において遠隔入試*を実施します。
◇試験日に新型コロナウィルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は追試験を受験することができます。**
◇新型コロナウィルス感染拡大の状況によって、入試科目の見直し、試験方法及び日程の変更を行う場合があります。その場合は本学ホームページで告知します。

*遠隔入試とは、受験生が来校せずに受験する選抜試験を指し、郵送（提出）、オンライン、メール、（携帯）電話等を利用した試験のことです。
**追試験の受験には、医師の診断書が必要です。詳細については対象者に本学より連絡を行います。

令和4年8月

沖縄県立芸術大学
OKINAWA PREFECTURAL UNIVERSITY OF ARTS
〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町１丁目４番地
電話　(098) 882-5080
http://www.okigei.ac.jp
メールアドレス　kyomu@okigei.ac.jp

令和5年度　沖縄県立芸術大学　美術工芸学部学生募集要項

目　　次

第１　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、
　　ディプロマ・ポリシー ---------- 1

第２　募集人員 ---------- 3

第３　一般選抜
　１　出願資格 ---------- 3
　２　選抜方法等 ---------- 4
　３　個別学力検査等の試験科目と日程 ---------- 6
　４　出願手続 ---------- 10
　５　受験票 ---------- 12
　６　受験上の注意 ---------- 12
　７　不正行為 ---------- 13
　８　合格者の発表 ---------- 14
　９　入学手続 ---------- 14
　10　入試成績開示 ---------- 15

第４　学校推薦型選抜 ---------- 16

第５　私費外国人留学生選抜
　１　出願資格 ---------- 16
　２　選抜方法等 ---------- 16
　３　個別学力検査等の試験科目と日程 ---------- 16
　４　出願手続 ---------- 16
　５　受験票 ---------- 18
　６　受験上の注意 ---------- 18
　７　不正行為 ---------- 18
　８　合格者の発表 ---------- 18
　９　入学手続 ---------- 19
　10　その他 ---------- 19

◎学生生活 ---------- 20

◎一般選抜出願用書類
　○出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜】
　○出願書類等一覧表【一般選抜（後期日程試験）】
　○封筒貼付用紙（一般選抜（前期日程試験）・私費外国人留学生選抜共通）
　○封筒貼付用紙（一般選抜（後期日程試験））

令和5年度　沖縄県立芸術大学
美術工芸学部学生募集要項

第１　アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

１　沖縄県立芸術大学アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

１　教育の理念

沖縄県立芸術大学の建学の基本的な精神は、沖縄文化が造りあげてきた個性の美と人類普遍の美を追究することにあります。これに基づき、伝統芸術の継承と発展にとどまらず、新たな芸術創造の可能性を広げ、幅広く芸術分野で活躍できる人材を育成していきます。さらに、学生の専門的力量を高め、豊かな人間性と社会性を身につける教育を目指します。

２　本学の求める人材

・本学の教育の理念をよく理解し、学習に必要な基礎的知識・技能を備えている人
・芸術に強い関心があり、自ら課題を発見し解決するための思考力や判断力、表現力を備えている人
・多様な芸術文化に興味を持ち、主体的に人々と協働し、現代社会に向けて新しい芸術創造の営みを発信していく意欲に満ちた人

３　入学者選抜区分

・本学では一般選抜、学校推薦型選抜及び社会人選抜を実施します。

４ 入学者選抜試験の基本方針と実施

・一般選抜においては、大学及び各学部のアドミッション・ポリシーに基づき、大学入学共通テストの成績を利用した選抜試験と個別学力検査等（実技検査、小論文、口述試験、面接等）を実施します。なお、大学入学共通テストについて、美術工芸学部では、国語、外国語及びその他任意の１科目の合計３科目を試験科目として課します。音楽学部では、国語、外国語の合計２科目を試験科目として課します。
・学校推薦型選抜においては、実技検査、小論文、面接等を実施します。
・音楽学部の社会人選抜においては、個別学力検査等（専攻試験、小論文等）を実施します。

いずれの試験においても、本学での学習に必要な「学力の３要素（知識・技能、思考力・判断力・表現力、主体性等）」を測り評価します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学のカリキュラムは、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、４年間を通して全学教育科目を選択履修し、全学年にわたり専門分野の実技や理論を基礎から高度な内容まで、段階的に履修することを基本に授業科目を編成します。

その上で、さまざまな技術や学問を幅広く主体的に学べるよう配慮し、学生の多様な個性を尊重しつつ、自ら感性を磨き、社会との関係を考え発信していく能力を高める教育を行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学では、大学及び各学部の教育理念に沿った専門教育と教養教育において成果をあげ、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出あるいは卒業演奏を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

その際、学生が獲得しておくべき学修成果は以下のとおりです。

１　美術工芸又は音楽の分野における基本的な知識を体系的に理解し、その知識体系の意味と自己の存在を歴史や文化、社会と関連付けて理解している。
２　知的活動や職業生活、社会生活においても必要となるコミュニケーション能力、論理的思考力、問題解決力などの汎用的基礎能力を身につけている。
３　卒業後も社会的責任を認識し、生涯を通じて自律的に学び続ける能力を身につけている。
４　１から３までの知識や能力等を総合的に活用し、創造的な思考力をもって自らの課題を探求し、解決する能力を身につけている。

２　美術工芸学部アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシー

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもちろん、造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を見出せる作家や研究者などの専門家の養成をめざします。

高い技術や専門知識、総合的かつ国際的な視野を身につけ、次代を担う個性的で優れた人材を育成します。

■アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

【教育の理念】

大学の教育理念に基づき、沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、沖縄の伝統に根差した美術工芸はもとより造形芸術に新たな地平を切り拓き、自ら社会的役割を担える作家、研究者、教育者などの専門家を育成するため、専門的素養と総合的知識、国際的視野を身につける教育を行います。

【求める人材】

美術工芸学部の教育を達成するために、次に掲げる知識・技能や能力（思考力・判断力・表現力等）、目的意識・意欲等を備えた人材を求めます。

1　本学及び美術工芸学部の教育の理念をよく理解し、大学での学習に必要な基礎的な知識と技能を備えている人

2　美術・デザイン・工芸分野における制作や学習において、自ら課題を発見し解決するための思考力、判断力、表現力を備えている人

3　美術・デザイン・工芸の分野において作家、研究者、教育者などの専門家になる意欲のある人

4　芸術文化の多様な背景を理解し、人とのコミュニケーションを大切に考え、社会性を認識し主体性を持って他者と協働できる人

5　沖縄固有の芸術文化や自然等に関心があり、沖縄で学ぶことに意義を見出せる人

【入学者選抜試験の基本方針と実施】

美術工芸学部においては、学部の教育理念を踏まえ、各専攻の専門性に沿った試験を課し評価します。また、専攻ごとに設定された多様な入試科目において、「学力の３要素（基礎的な知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力、主体性・多様性・協働性）」を総合的に評価します。なお、入試区分及び募集枠ごとに総合点の上位から合格者の選抜を行います。

各入試区分における評価方法は以下の通りです。

1　一般選抜では、大学入学共通テストにおいて国語、外国語及び任意の１科目の合計３科目を課し、大学での学習に必要な知識、技能、思考力等を測り評価します。また、個別学力検査等において、実技検査、小論文、面接（プレゼンテーションを含む）を実施し、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び志願者本人の記載する資料等を活用します。

2　学校推薦型選抜では、絵画・デザイン・工芸各専攻は課題作品、小論文の提出と面接（プレゼンテーションを含む）を、芸術学専攻は小論文の提出と面接、口述試験を実施し、大学での学習に必要な知識、技能、専門分野における基礎的能力、主体性及び将来性を測り評価します。面接においては多面的・総合的な評価を行うために、調査書及び高等学校長からの推薦書、志願者本人の記載する資料等を活用します。

■カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、ディプロマ・ポリシーに掲げる学修成果を獲得できるよう、大学カリキュラム・ポリシーを基本に、以下のとおりカリキュラムを編成し、実施します。

1　専門分野の実技と理論において、必須科目を中心とした体系的な授業科目の編成

2　専門教育の４年間にわたる段階的履修

3　自らの学修計画に基づき主体的に履修できる選択科目の編成

4　大学の学修活動全体を通じて汎用的基礎能力を育成する教育の実施

5　現代社会における美術・デザイン・工芸の役割を認識し、地域との連携を図り、社会との関係を学ぶ教育の実施

学修成果の評価は、評価の観点を示した上で授業科目の到達目標の達成度を基準に、作品・論文・レポート・筆記試験等により行います。

■ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）

沖縄県立芸術大学美術工芸学部では、大学ディプロマ・ポリシーを基本に、加えて以下に掲げる学修成果を獲得し、最終学年における卒業作品又は卒業論文の提出を経て、所定の卒業単位を取得した学生に対し、学士（芸術）の学位を授与します。

1　美術・デザイン・工芸の分野における基本的な知識を体系的に理解している。
2　自己の創造的活動を歴史、文化、社会、自然等と関連付けて考察できる。
3　専攻分野の専門的な技能と研究能力を身につけている。
4　卒業後も主体的に創作、研究を継続し、それらを社会に発信する意欲と能力を備えている。

第２　募集人員

学科・専攻別募集人員は、次のとおりである。

学科	専攻	入学定員	募集人員			
			一般選抜		学校推薦型選抜	私費外国人留学生選抜
			前期	後期		
美術学科	絵画専攻	10	4	4	2	若干名
	彫刻専攻	5	3	2	0	若干名
	芸術学専攻	6	4	0	2	若干名
デザイン工芸学科	デザイン専攻	20	14	0	6	若干名
	工芸専攻	24	10	4	10	若干名
計		65	35	10	20	若干名

注１：学校推薦型選抜の入学手続き完了者が募集人員に満たない場合は、満たない分を前期日程の募集人員に加える。
注２：私費外国人留学生選抜の募集人員は、一般選抜の前期日程の募集人員に含む。
注３：工芸専攻では２年次前期終了時に染分野、織分野、陶芸分野、漆芸分野の選別（選択制）を行い決定する。
＊絵画専攻では、令和６年度入試から一般選抜の募集人員を前期５名、後期３名へ変更する。

第３　一般選抜

１　出願資格

次の各号の一に該当し、かつ、本学美術工芸学部が指定する令和５年度大学入学共通テストの教科・科目（５ページの別表参照）を受験した者

（１）高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和５年３月卒業見込みの者
（２）通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程により、これに相当する学校教育を修了した者を含む。）及び令和５年３月修了見込みの者
（３）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和５年３月修了見込みの者並びにこれに準ずる者で学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号。以下「法施行規則」という。）第150条第１号の規定により文部科学大臣の指定したもの
（４）文部科学大臣が法施行規則第150条第２号の規定により高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和５年３月修了見込みの者
（５）専修学校の高等課程（修業年限が３年以上であることその他の法施行規則第150条第３号の規定により文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が同号の規定により指定するものを文部科学大臣が同号の規定により定める日以後に修了した者
（６）法施行規則第150条第４号の規定により文部科学大臣の指定した者

（７）高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第１号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（同令附則第２条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13号）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）及び令和５年３月31日までに合格見込みの者

（８）本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、18歳に達したもの（事前に資格認定審査を行うので、令和４年10月14日（金）までに本学教務学生課に申し出ること。）

※注意事項

受験者は、前期日程試験、後期日程試験の両方に出願することができます。ただし、出願に必要な書類、入学考査料などは、各試験毎に必要になります。それぞれに出願してください。

２　選抜方法等

（１）選抜方法

美術工芸学部の一般選抜は、分離・分割方式の前・後期日程により行う。２段階選抜、帰国子女等の特別選抜、定員一部保留第２次募集は行わない。

（２）合否判定基準

大学入学共通テストの得点と本学が実施する個別学力検査等の得点を合計して総合得点とし、専攻・コース内の総合得点の上位から順に合格者とする。また、調査書も参考にする。

（３）大学入学共通テスト

受験を要する教科・科目及び配点等は、５ページの別表による。なお、各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象とする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の２科目受験者については、第１解答科目の得点を評価の対象にする。

（４）遠隔入試

美術工芸学部の一般選抜後期日程の絵画専攻及び工芸専攻において、遠隔入試を実施する。

遠隔入試では『提出型試験』と、『オンライン（リアルタイム）型試験』の２種類の方法で実施する。

『オンライン（リアルタイム）型試験』については、オンラインシステム(Zoom)を使用する。

詳細については本学ホームページにて公開する。

（５）追試験

試験日に新型コロナウイルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、令和５年３月23日（木）、３月24日（金）に追試験として受験することができる。その場合は医師の診断書の提出が必要。

詳細については対象者に大学より連絡を行う。

別表２

令和５年度　沖縄県立芸術大学　入学者選抜試験（一般選抜）の実施教科・配点等（美術工芸学部）

学部・学科等名及び入学定員等（令和４年度 志願倍率）			学力検査等の区分・日程	大学入学共通テストの利用教科・科目名		個別学力検査等			大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等											その他の選抜方法等
				教科	科目名等	教科等	科目名等	2段階選抜	試験の区分	国語	地歴	公民	数学	理科 注1	外国語 注2 英（50：50）	小論文	実技	面接	配点合計	
美術工芸学部（2.7） 65人 前期 35 後期 10 その他 20	美術学科 21人 前期 11 後期 6 その他 4	絵画専攻 前期 4 後期 4 その他 2	前期 2/25～2/27 後期 3/12～3/14	国語	国　を必ず受験	その他	前期 実技検査 （素描） （着彩） 面接		共通テスト	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）				300	推薦 外国人 追加合格
									個別学力検査等								600	100	700	
				地理・公民 数学 理科	世A，世B，日A，日B，地理A，地理B，現社，倫，政経，倫・政経 数Ⅰ，数Ⅰ・数A，数Ⅱ，数Ⅱ・数B，簿，情報 物，化，生，地学 物基，化基，生基，地学基（注１） から1 注１（ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は同科目から２）				計	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）		600	100	1000	
							後期 実技検査 （着彩） （作品資料） 小論文 面接		共通テスト	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）				300	
									個別学力検査等							100	500	100	700	
				外国語	英，独，仏，中，韓から１　を必ず受験 （英語はリスニングテストを含む。） ［３教科３科目（ただし、「理科」の基礎を付した科目を選択する場合は４科目）］				計	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）	100	500	100	1000	
		彫刻専攻 前期 3 後期 2	前期 2/25～2/27 後期 3/12～3/14			その他	実技検査 （素描） （塑造） 面接		共通テスト	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）				300	外国人 追加合格
									個別学力検査等								600	100	700	
									計	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）		600	100	1000	
		芸術学専攻 前期 4 その他 2	前期 2/25～2/27			その他	実技検査 （素描） 小論文 面接		共通テスト	200	＊200	＊200	＊200	＊200	200（100：100）				600	推薦 外国人 追加合格
									個別学力検査等							＊300	＊300	100	400	
									計	200	＊200	＊200	＊200	＊200	200（100：100）	＊300	＊300	100	1000	
	デザイン工芸学科 44人 前期 24 後期 4 その他 16	デザイン専攻 前期14 その他6	前期 2/25～2/27			その他	実技検査 （素描） （色彩構成） （立体構成） 面接		共通テスト	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）				300	推薦 外国人 追加合格
									個別学力検査等								600	100	700	
									計	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）		600	100	1000	
		工芸専攻 前期 10 後期 4 その他 10	前期 2/25～2/27 後期 3/12～3/14			その他	実技検査 （素描） （色彩構成） 面接		共通テスト	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）				300	推薦 外国人 追加合格
									個別学力検査等								600	100	700	
									計	100	＊100	＊100	＊100	＊100	100（50：50）		600	100	1000	

注１　「理科」の基礎を付した科目を選択する場合には、必ず「理科」の基礎を付した科目から２科目を選択しなければならない。なお、その際の選択科目の総数は、「理科」の基礎を付した科目を選択しない場合に比べて、１科目増えることに注意すること。

注２　英語については、リーディング（R）とリスニング（L）の配点を（R:L）と表し、その合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テスト】欄

（１）各専攻の指定する数以上の教科・科目を受験している者については、特に個別に指定された教科・科目を除いて、得点の高い教科・科目を評価の対象にする。ただし、「地理歴史、公民」及び「理科」の２科目受験者については、第１解答科目の得点を評価の対象にする。また本学では、大学入試共通テストの過年度成績は利用しない。

（２）英語については、筆記試験とリスニングテストの合計得点を各専攻の外国語の配点に換算して利用する。

（３）理科の基礎を付した科目については、選択した２科目の合計得点を各専攻の理科の配点に換算して利用する。

【大学入学共通テストの配点等】欄

（１）配点に＊印を付してある教科・個別学力検査等は選択教科・個別学力検査等を表す。

3　個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程、後期日程）の個別学力検査等に係る試験科目と試験実施方法は、次のとおりである。

（1）試験科目

ア　前期日程

学科・専攻＼試験科目		実技検査					小論文	面接
		素描	着彩	色彩構成	立体構成	塑造		
美術学科	絵画専攻	◎	◎					◎
	彫刻専攻	◎				◎		◎
	芸術学専攻	○					○	◎
デザイン工芸学科	デザイン専攻	◎		◎	◎			◎
	工芸専攻	◎		◎				◎

注１：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。○印は選択科目を示す。
注２：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。
注３：芸術学専攻は、実技（素描）と小論文のいずれかを出願時に選択する。
注４：デザイン専攻及び工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

イ　後期日程

学科・専攻＼試験科目		実技検査						小論文	面接	
		素描	着彩	色彩構成	作品資料	素描	塑造			
		提　出　型				対 面		提 出 型	対 面	オンライン型
美術学科	絵画専攻		◎		◎			◎		◎
	彫刻専攻					◎	◎		◎	
デザイン工芸学科	工芸専攻	◎		◎						◎

注１：◎印は、受験者が必ず受験しなければならない科目を示す。
注２：絵画専攻及び工芸専攻は遠隔入試とする。
注３：絵画専攻の実技検査は、油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを出願時に選択する。
注４：工芸専攻の面接試験はプレゼンテーションを含む。

（２）**試験日程等**

◆前期日程◆

▼絵画専攻

試験日	**２月25日（土）**	**２月26日（日）**	**２月27日（月）**
試験科目 試験時間	実技試験　素描 9:30～16:30	実技試験　着彩 9:00～16:30	実技試験　着彩 9:00～11:30 面接 13:00～17:00
受験者が持参すべき用具等	○**油画選択者**：木炭、鉛筆、消具、下敷用木炭紙（白紙） ○**日本画選択者**：鉛筆、消具	○**油画選択者**：鉛筆、消具、水彩用具又は油彩用具一式（パレットを含む） ○**日本画選択者**：鉛筆、消具、水彩用具一式（筆洗を含む）	
受験上の注意	○絵画専攻の実技試験は油画と日本画に分かれており、受験者はそのいずれかを選択すること。 ○絵画専攻油画の実技試験（着彩）では、キャンバス（油彩・アクリル兼用）または、画用紙（パネルに水張り）を準備している。受験者はそのいずれかを選択すること。 ○素描試験の際、ベンジン、アルコールなど揮発性の高い液体の使用を禁止する。 ○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。また、木炭や油絵具は航空法に基づき輸送できないため、各自で道具類の輸送手段を確認すること。 ○フィクサティフ、画用液（ペインティングオイル、テレピン、シッカチーフのみ）、筆洗油は本学で準備する。 ○面接終了時間は延長する可能性がある。		
試験場	首里当蔵キャンパス美術棟		

▼彫刻専攻

試験日	**２月25日（土）**	**２月26日（日）**	**２月27日（月）**
試験科目 試験時間	実技試験 素描（石膏像） 9:30～17:00	実技試験　素描 9:00～12:00 実技試験　塑造 13:00～17:00	実技試験　塑造 9:00～11:00 面　接 13:00～15：00
受験者が持参すべき用具等	○消具（パンや練りゴム）、下敷用紙（未使用木炭紙） ○**木炭は本学で用意する。**	○鉛筆、消具 ○**塑造用具は本学で用意する。**	○１年以内に描いた素描５枚（紙の種類、大小を問わない。） ○その他作品資料等があれば持参する。
受験上の注意	○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。		
試験場	首里崎山キャンパス彫刻棟		

▼芸術学専攻

試験日	**２月25日（土）**	
試験科目 試験時間	実技試験　素描 9:30～12:30	小論文 9:30～11:30
	面接 13:30～17:00	
受験者が持参すべき用具等	○鉛筆、消しゴム	○筆記用具
受験上の注意	○素描、小論文のいずれかを出願時に選択。 ○面接終了時間は延長する可能性がある。	
試験場	首里当蔵キャンパス一般教育棟	

▼デザイン専攻

試験日	２月25日（土）	２月26日（日）	２月27日（月）
試験科目 試験時間	実技試験　素描 9:30～16:30	実技試験 色彩構成　9:30～12:30 立体構成 13:30～16:30	面　接 9:30～17:00
受験者が持参すべき用具等	○鉛筆､消しゴム	○鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、筆、筆洗、パレット（絵具皿）、コンパス、下敷き ○色彩構成で使用する絵具は本学で準備する。	○面接内容は実技試験で制作した作品についての質問を含む。
受験上の注意	○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。 ○面接終了時間は延長する可能性がある。		
試　験　場	首里崎山キャンパスデザイン/中央棟		

▼工芸専攻

試験日	２月25日（土）	２月26日（日）	２月27日（月）
試験科目 試験時間	実技試験　素描 9:30～15:30	実技試験 色彩構成 9:30～15:30	面　接 9:30～17:00
受験者が持参すべき用具等	○鉛筆､消しゴム	○鉛筆、消しゴム、直定規、三角定規、カッターナイフ、コンパス、筆、筆洗等、パレット（絵具皿）、雑巾 **○色彩構成で使用する絵具は本学で準備する。**	○面接内容は実技試験で制作した素描及び色彩構成についてのプレゼンテーションを含む。 （面接時間　１人あたり20分）
受験上の注意	○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。		
試　験　場	首里崎山キャンパス工芸棟		

◆後期日程◆

▼絵画専攻

試験日		３月12日（日）	３月13日（月）	３月14日（火）
試験科目 試験時間	実技：実技作品（着彩）、作品資料及び小論文	面接 9:30～17:30		予備日
実施方法	・実技作品（着彩）及び小論文の「出題文」は12月７日（水）に本学ホームページにて公表する。 ・小論文は、出願書類と一緒に封入し簡易書留にて提出すること。 ・出願期間に実技作品（着彩）と作品資料を共に梱包し、出願書類とは別に郵送等にて本学に提出すること。 ※提出期限：２月３日（金）消印有効（持ち込み不可）	・オンライン（リアルタイムで実施する。 ・面接時間は、上記の時間内にて１人あたり20分程度。		「６ 受験上の注意」12～13ページ参照
提出物及び準備するもの	**実技作品（着彩）** 油画又は日本画の実技を選択する。※用紙、画材等は各自で用意すること。 **・油画（着彩）** 用紙及び画材：キャンバスに油彩用具又はアクリル用具、画用紙にアクリル用具又は水彩用具。 作品サイズ：キャンバスはF15号、画用紙は木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はキャンバス、パネルから切り離さずに梱包し提出） **・日本画（着彩）** 用紙及び画材：画用紙に水彩用具。	・実技作品、作品資料、小論文、出願書類を基に面接試験を実施する。 ・「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず手元に準備しておくこと。		

	作品サイズ：木炭紙サイズパネルに水張り。画面の縦・横は自由。（※提出時はパネルから切り離さずに梱包し提出） **作品資料** １年以内に制作した素描、着彩（合計10点以内）を撮影し、プリントアウトした用紙（A4）をクリップで留めること。提出時は実技作品と一緒に提出。（全用紙下部には、氏名、作品サイズ、制作年、ページ番号を明記する） ※実技作品、作品資料は返却しない。 **小論文** 400字詰め原稿用紙（B4版・縦書）に手書きで800字以内 ※小論文は返却しない。		
試験に関する留意点	・実技作品の作品裏面右上に、必ず後期日程及び氏名を明記すること。 ・実技作品の作品裏面中央に、必ず上下が分かるように矢印（↑）を明記すること。 ・小論文は原稿用紙１枚目の欄外右余白に、タイトル・氏名を記入すること。 ・小論文は、出願書類と一緒に封入し簡易書留にて提出すること。 ・出願期間に実技作品（着彩）と作品資料を共に梱包し、出願書類とは別に郵送等にて提出すること。 ・実技作品等の提出先宛名には、受験する専攻名を必ず記載すること。 ※実技作品、作品資料はすべて自作であること。 ※実技作品は額装しないこと。	・「６ 受験上の注意（Ⅱ 遠隔入試について）」13ページ参照のこと。	

▼彫刻専攻

試験日	３月12日（日）	３月13日（月）	３月14日（火）
試験科目 試験時間	実技試験 素描（石膏像） 9:30～17:00	実技試験　素描 9:00～12:00 実技試験　塑造 13:00～17:00	実技試験　塑造 9:00～11:00 面　接 13:00～15：00
受験者が持参すべき用具等	○消具（パンや練りゴム）、下敷用紙（未使用木炭紙） **○木炭は本学で用意する。**	○鉛筆、消具 **○塑造用具は本学で用意する。**	○１年以内に描いた素描５枚（紙の種類、大小を問わない。） ○その他作品資料等があれば持参する。
受験上の注意	○カッターナイフ等の刃物類は航空機内に手荷物で持ち込めない。		
試　験　場	首里崎山キャンパス彫刻棟		

▼工芸専攻

試験日		３月12日（日）	３月13日（月）	３月14日（火）
試験科目 試験時間	実技：①素描、②色彩構成	面接（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ含む） 9:30～17:30		予備日
実施方法	・①素描と②色彩構成の「出題文」は１月18日（水）に本学ホームページにて公表する。 ・出願書類は簡易書留にて提出すること。 ・出願期間に実技作品（①、②）を出願書類とは別に郵送等にて本学に提出すること。 ※提出期限：２月３日（金）消印有効（持ち込	・オンライン（リアルタイム）で実施する。 ・面接（ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾃｰｼｮﾝ含む）時間は、上記の時間内のうち１人あたり20分程度。		「６ 受験上の注意」12～13ページ参照

	み不可)		
提出物及び準備するもの	**①素描**１点　Ｂ３画用紙に鉛筆 **②色彩構成**１点　Ｂ３ケント紙又は画用紙に絵の具(①と②で使用する画用紙や鉛筆、絵の具、道具などは、一般的なものを各自で準備する。) (①と②は水張りパネル不可)	・面接は調査書を基に実施する。 ・プレゼンテーションは①素描、②色彩構成を元に実施するので提出する前に①素描、②色彩構成を撮影しプリントアウトして手元に準備しておくこと。	
試験に関する留意点	※実技作品①、②はすべて自作であり、他者の手が加わらないこと。 ・①と②の裏面右上に、必ず後期日程及び氏名を明記しておくこと。 ・①、②の裏には、上下が分かるように矢印（↑）を書いておくこと。 ・出願書類は簡易書留にて提出すること。 ・出願期間に実技作品（①、②）を出願書類とは別に郵送等にて本学に提出すること。 ・①素描、②色彩構成は返却しない。	・「6 受験上の注意（Ⅱ 遠隔入試について）」13ページを参照のこと。 ・面接の際には本人確認が必要のため、マスクを外すこと。	

◆追試験◆

全専攻：令和５年3月23日（木）、24日（金）

４　出願手続

（１）出願期間

前期日程試験・後期日程試験ともに令和５年１月23日（月）から２月３日（金）までとする。ただし、２月３日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の２月３日（金）午後５時までに到着したものを有効とする。

（２）出願方法

本入学試験はオンライン出願で行う。本学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア　**17,000円**（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、**令和５年２月３日（金）までに納付すること。**クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。

※領収書の提出は不要。

イ　別途手数料がかかるため留意すること。

ウ　いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

＊出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ(URL：http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html)

出願書類等	摘　　要
①入学志願票	ア　入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。氏名は戸籍に記入されている文字を正しく入力すること。現住所は願書記入時の住所でよい。（以下の書類も同様に）

	イ　絵画専攻の受験者は、油画又は日本画のどちらかを選択し、オンライン出願時に入力すること。（油画の実技試験（着彩）については、キャンバス又は画用紙のいずれかを選択すること。） ウ　芸術学専攻の受験者は、素描か小論文のどちらかを選択し、オンライン出願時に入力すること。 エ　入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 また、共通テスト成績請求票を日程別に出力した入学志願票の貼付欄に貼り付けること。 **※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。**
②調査書	**以下、ア、イのいずれかに該当する書類を提出すること。** **ア　調査書** 文部科学省所定の様式に従い、出身学校長が証明したもの（原本・開封無効）を提出すること。 ＊ただし、指導要録の保存期間の経過、廃校、被災その他の理由により出身学校長から調査書が得られない場合は、下記の書類を全て提出すること。 ・卒業証明書 ・成績証明書 ＊上記、成績証明書が発行できない場合は、それに代わる書類または出身学校長からの「成績証明書を発行できない旨の文書」をあわせて提出すること。 ＊廃校等により出身学校長の証明が得られない場合は、出身学校を所管する教育委員会または知事が作成したこれらに関する書類をあわせて提出すること。 ＊日本語以外の言語で作成されている場合は日本語訳を添付すること。 **イ　合格成績証明書** 高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）は、調査書に代えて当該試験の合格成績証明書を提出すること。なお、合格証明書は不要とする。ただし、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の調査書も必ず提出すること。
③旅券の写し等 （外国人のみ）	外国人は、旅券の写しを提出すること。なお、在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出すること。
④住民票抄本等 （県内に住所を有する該当者のみ）	**入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和４年４月１日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。** なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。
⑤小論文	絵画専攻（後期日程のみ）

（３）出 願 先（実技作品等の提出先も同様。後期日程の絵画専攻及び工芸専攻のみ）

〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１丁目４番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課　　電話 098-882-5080（直通）

（４）出願上の注意

ア　本学の前期日程または後期日程に出願する場合は、他の同日程で試験を行う国公立大学・学部には重複出願できない。

イ　前期日程試験・後期日程試験のそれぞれに出願手続きを行うことができる。ただし出願書類は個別に出願すること。

ウ　入学志願者は、本学が課した大学入学共通テストの教科・科目を受験していることを確認してから出願すること。

エ　他の国公立大学・学部の学校推薦型選抜合格者は、当該学校推薦型選抜を実施する大学・学部の定める学校推薦型選抜辞退手続きにより辞退した場合を除いて、本学を受験することができない。たとえ受験しても、受験者として扱われない。

オ　本学前期日程試験に合格し令和５年３月15日（水）までに入学手続きを行った者は、他の国公立大

学・学部の「公立大学中期日程（旧Ｃ日程）」試験及び本学を含む「後期日程」試験を受験していてもその合格者とならない。

カ　出願後は、志望学科・専攻の変更を認めない。

キ　出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。

ク　入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合は、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

（５）障がいを有する等の入学志願者との事前相談について

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるので、**令和５年１月19日（木）午後５時まで**に申し出ること。

また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

ア　相談の方法　　相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

イ　連　絡　先　　沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号　（098）882－5080

ウ　本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、本学ホームページ『入試情報』において公表する。

５　受 験 票

（１）受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。

（２）令和５年２月13日（月）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

６　受験上の注意

Ⅰ　対面の入試について

（１）試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
本学受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に携帯すること。

（２）個別学力検査等の日程に注意すること。

（３）試験場は専攻ごとに異なるので注意すること。（７～10ページ参照）

ア　絵画専攻受験者は午前８時45分までに首里当蔵キャンパス美術棟１階に集合すること。

イ　芸術学専攻受験者は午前９時00分までに首里当蔵キャンパス管理棟入口前に集合すること。

ウ　彫刻専攻、デザイン専攻、工芸専攻受験者は午前８時45分までに首里崎山キャンパスデザイン/中央棟１階エントランスホールに集合すること。

エ　第２日目以降は試験場内の所定の場所に午前８時45分までに集合すること。なお、試験当日は、交通の状況等も考慮して、余裕を持って試験場に向かうこと。

（４）試験開始後30分を超えて遅刻した者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに試験場係員に申し出ること。

（５）実技試験の作品は返還しない。また、本学の交付した用紙等は一切持ち帰ってはならない。

（６）試験時間中は、監督者の指示に従うこと。

ア　机上には指定された用具のみを置くこと。それ以外の物は監督者の指示した場所に置くこと。

イ　試験中に身体の具合が悪くなった場合は、監督者に申し出ること。

（７）試験の内容に関する質問には、一切答えない。

（８）試験当日は、構内への自動車、オートバイ等の乗り入れを禁止する。

（９）携帯電話等の通信・記録機器は、試験場に入る前に電源を切ること。

(10) **試験が午後にわたるときは、弁当を持参すること。**

(11) 試験期間中は、受験者以外の者の構内への立ち入りを禁止する。

(12) 忘れ物等については、１週間以内に申し出ること。

(13) 本学では、宿泊施設等の紹介はしないので、受験者各自で確保すること。
(14) 試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

Ⅱ　遠隔入試(オンライン型)について(後期日程の絵画専攻及び工芸専攻のみ)

【前日までに】

（1）**受験者にはパソコン、スマートフォン、タブレット等の通信機器と、インターネット回線に接続できる通信環境を用意し、試験時には個室に１人で対応できる環境を整えることを求める。なお、事前に接続テストを行うので、その際も同じ環境で行うこと。**
（2）試験に使用できる通信機器は１台とし（緊急時を除く）、試験中は電源に接続するか、事前に充電を行い、試験中に電源が切れることのないようにすること。
（3）オンラインでの実技検査及び面接の接続時間は本学が指定し、決まり次第入学志願者へ連絡する。
（4）オンラインシステム（Zoom）の使用できる環境を用意すること。また、本学より連絡するので、接続テストができるように準備しておくこと。
（5）本学受験票は、出願書類受理後にオンライン出願サイトの「マイページ」からダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に携帯すること。

【試験当日】

（1）試験当日は、「本学受験票」と「大学入学共通テスト受験票」の両方を必ず携帯すること。
（2）個別学力検査等の日程に注意すること。
（3）受験者は、指定時刻にオンラインに接続できるよう待機すること。なお、試験当日は、余裕を持って待機すること。
（4）指定時刻に遅れた者は、原則として受験を許可しない。ただし、やむを得ない事情（公的事情）により遅刻した場合は、ただちに大学に申し出ること。
（5）試験時間中は、監督者の指示に従うこと。
　ア　試験中の録画・録音は禁止する。
　イ　試験時間中は、本人確認が必要なため、マスクを外すこと。
　ウ　オンライン（リアルタイム）型試験中に、試験と関係ない電話・メール等の着信があっても応答しないこと。鳴動し続ける場合、監督者に申し出て、着信を切断すること。
　エ　オンライン（リアルタイム）型試験開始から終了までは通信を切断すること及びウェブカメラの前から移動することは認めない。体調不良、トイレ等、やむを得ない場合には監督者に知らせ、その指示に従うこと。
（6）通信機器が接続不可能となった場合は大学(098-882-5080)と連絡をとり、対応を相談すること。
（7）試験の内容に関する質問には、一切答えない。
（8）試験で制作した課題（作品、小論文等を含む）を外部へ一切公表しないこと。
（9）試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

Ⅲ　その他

試験日に新型コロナウィルス感染症等に罹患し受験できなかった入学志願者は、令和５年３月23日（木）、24日（金）を追試験として受験することができる。その場合には医師の診断書の提出が必要。（対象者は本学より連絡を行う。）

7　不正行為

1　試験中に不正行為が発覚した場合は、失格とする。また、試験の実施後に不正行為が発覚した場合についても、失格または合格取消とする。

次のことをすると不正行為とする。

・入学志願者本人以外の者による試験解答への関与
・監督者の指示に従わない場合
・本項記載事項の他、入学試験に関し各種要項で禁止されている事項に反した場合
・試験に関する内容についてオンライン等を含め、第三者が閲覧、視聴できるような状態にすること
・その他、円滑な試験実施を阻害するとみなされる一切の行為

２　上記１以外にも、次のことをすると不正行為となることがある。指示に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、１と同様とする。

・許可された時間や場所以外で、携帯電話、スマートフォン、腕時計型端末、電子辞書、ＩＣレコーダー等の電子機器類やイヤホン、ヘッドセットをかばんなどにしまわず、身に付けていたり手に持っていること
・オンライン（リアルタイム）型試験において、関係のないパソコン、スマートフォン、タブレット等の操作をすること
・オンライン（リアルタイム）型試験において、「①辞書や参考書を見るために目線（視線）が頻繁に動く」「②意図的に通信を切断する」等、不正が疑われる行為
・指定された持参用具以外の物の持ち込み・使用を発見した場合
・「第６　受験上の注意」に記載されている電子機器類の使用に関する注意事項に反する行為

８　合格者の発表

（１）合格者の発表

○前期日程試験

令和５年３月６日（月）午後２時 に受験番号を本学ホームページ（http://www.okigei.ac.jp）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内
（１）入学志願者状況案内　１月31日（火）10:00～２月14日（火）17:00
（２）合 格 者 発 表 案 内　３月６日（月）14:00～３月19日（日）17:00

○後期日程試験

令和５年３月20日（月）午前10時 に受験番号を本学ホームページ（http://www.okigei.ac.jp）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内
（１）入学志願者状況案内　１月31日（火）10:00～２月14日（火）17:00
（２）合 格 者 発 表 案 内　３月20日（月）10:00～３月31日（金）17:00

（２）追試験合格者の発表

令和５年３月28日（火）午前10時 に受験番号を本学ホームページに掲載。

※合格者には入学意思の確認を行うので、**28日は確実に連絡できるようにしておくこと**。

（３）追加合格者の発表

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、３月28日（火）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、**３月28日（火）から３月31日（金）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。**（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

９　入学手続

（１）入学手続期間

〇前期日程　　令和５年３月８日（水）～３月15日（水）午後５時までに必着

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和５年３月15日（水）午後５時までの必着とする。
（注意）消印が３月15日以前であっても３月15日午後５時を過ぎて到着したものは受け付けない。

○後期日程　　令和５年３月22日（水）～３月27日（月）午後５時までに必着

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和５年３月27日（月）午後５時までの必着とする。
（注意）消印が３月27日以前であっても３月27日午後５時を過ぎて到着したものは受け付けない。

（２）提出書類

ア　誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）
イ　高等学校卒業証明書又は卒業見込証明書
ウ　大学入学共通テスト受験票（入学手続後、本人に返送）
エ　入学料領収書の写し（Ａ４サイズでコピー）※原本の提出は不要
オ　その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

（３）入学料の納入

ア　**入 学 料**　　県　内　居　住　者　282,000円
　　県内居住者以外の者　512,000円
※県内居住者：入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は１親等の親族のある者。
イ　納入期限　　入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、20ページの「学生生活」を参照。

（４）入学料の減免について

申請条件　　原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は２分の１減額の可否を審査し決定する。
①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

（５）手続書類送付先　　〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１丁目４番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課　　電話 098-882-5080（直通）

（６）留意事項

ア　**令和５年３月15日（水）（前期日程）**または**３月27日（月）（後期日程）**までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
イ　本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
ウ　いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

10　入試成績開示

沖縄県個人情報保護条例に基づき、入試成績については、口頭により受験者本人が自己の入試成績の開示を請求することができる。

（１）開示内容
当該年度入試の個人成績を得点又は段階評価で開示する。

（２）開示請求できる期間
令和５年４月14日（金）～令和５年５月15日（月）　（午前９時から午後５時まで）
ただし、土・日・祝日等休業となる日は除く。

（３）開示請求の受付を行う場所
沖縄県立芸術大学首里当蔵キャンパス事務局教務学生課

（４）開示の方法

本人部分のみ閲覧

（５）開示請求に必要な書類

受験票のほか、学生証、運転免許証、旅券その他官公署の発行する証明書等の一つを持参すること。

（６）開示請求

受験者本人が、口頭で本学教務学生課に申し出ること。

（７）その他

電話による開示内容の問い合わせには応じない。また、県内離島あるいは県外在住者で来学が困難な者の郵送での対応は、沖縄県個人情報保護条例に基づく手続が必要となる。手続方法については、本学のホームページを参照のこと。

第４　学校推薦型選抜

学校推薦型選抜は、別途本学ホームページに掲載している「令和５年度学校推薦型選抜学生募集要項」による。

第５　私費外国人留学生選抜

１　出願資格

次の各号のすべてに該当し、かつ、入学時において18歳以上の者とする。

（１）日本の国籍を有しない者

（２）外国において、学校教育における12年の課程を修了した者及び令和５年３月修了見込みの者、又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（国際バカロレア資格、アビトゥア資格（ドイツ連邦共和国）又はバカロレア資格（フランス共和国）を取得した者を含む。）

（３）独立行政法人日本学生支援機構が実施する2022年度第１回又は第２回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目を受験した者

（４）出入国管理及び難民認定法において、大学入学に支障のない在留資格（留学等）を有する者

（５）修学に必要な日本語の能力を有する者（日本語能力試験Ｎ２レベル以上相当を目安とする）

（注意）日本の国籍を有しない者で、日本の高等学校における３年間の教育課程を履修し、かつ、卒業した者（令和５年３月卒業見込みの者を含む。）については、私費外国人としてではなく一般志願者と同様に扱う。

２　選抜方法等

大学入学共通テストを免除し、以下に掲げる内容を総合的に判断して合格者を決定する。

①2022年度第１回又は第２回日本留学試験における出題言語を日本語とする日本語及び総合科目の成績

②一般志願者と同一の個別学力検査等を課した成績

③出願書類等

３　個別学力検査等の試験科目と日程

一般選抜（前期日程）と同様に実施する（７～８ページ参照）。

４　出願手続

（１）出願期間

令和５年１月23日（月）から２月３日（金）までとする。（日本時間、以下同様）

日本国内から郵送するものは**「書留郵便で速達」**とし、２月３日（金）までの郵送発信局消印があるものは有効とする。

（注意）外国から直接出願する場合は、郵送発信局消印日付に関わりなく日本時間の２月３日（金）午後５時までに到着したものを有効とする。

（2）**出願方法**

本入学試験はオンライン出願で行う。大学ホームページからオンライン出願ページに進み出願手続を行うこと。

オンライン出願の際は、入学考査料支払後に入学志願票が入手可能となる。

入学考査料について

ア　17,000円（納入方法はオンライン出願ページの指示に従い、**令和５年２月３日（金）までに納付すること。**クレジットカード、コンビニ支払、ペイジー（Pay-easy）による納付が可能）。

※領収書の提出は不要。

イ　別途手数料がかかるため留意すること。

ウ　いったん納入した入学考査料は原則返還しない。

出願に際しては、入学志願票を含む下記書類を郵送（書留郵便で速達）する必要があり、その手続までが出願手続となるので留意すること。書類の提出は出願期間最終日の消印があるものに限り受理する。

＊出願手続きについては「オンライン出願ページ」の注意事項を参照のこと。

オンライン出願ページ(URL：http://www.okigei.ac.jp/examination/application-online.html)

出願書類等	摘　　要
①入学志願票	ア　入学考査料支払後に、登録したメールアドレスにマイページのURLが送付されるため、マイページから入学志願票をカラー印刷し提出すること。 イ　「氏名（漢字）欄」は、入学志願者の旅券に記載の英字氏名で記入し、「氏名（カナ）欄」は、入学志願者の氏名をカタカナで記入すること。 ウ　住所は、本学からの通知等が確実に受け取れる郵便番号・住所を記入すること。 エ　「在留資格欄」は、入学志願者の有する在留資格について記入すること。 オ　「最終学歴欄」は、卒業（修了）年月日、学校名、所在地を記入すること。 カ　「資格試験欄」は、国際バカロレア資格等大学入学に必要な資格を取得している者はその取得年月日、名称を記入すること。 キ　独立行政法人日本学生支援機構が実施した2022年度第１回又は第２回日本留学試験の受験番号を記入すること。 ク　絵画専攻の受験者は、油画又は日本画のどちらかを選択し、オンライン出願時に入力すること。（油画の実技試験（着彩）については、キャンバス又は画用紙のいずれかを選択すること。） ケ　芸術学専攻の受験者は、素描か小論文のどちらかを選択し、オンライン出願時に入力すること。 コ　「学歴欄」は、すべての教育機関にわたって、学校名、所在地名、修業年限、入学年月日、卒業（修了）年月日を年月順に記入すること。 サ　入学志願票には上半身、無帽、正面、出願前３ヶ月以内に撮影したカラー写真データを用意し、オンライン出願ページでアップロードすること。 **※受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページから入手可能となる。**
②最終学校の卒業証明書及び成績証明書等	日本の高等学校に相当する学校を卒業した者は卒業証明書及び成績証明書を、国際バカロレア資格等を有する者は資格証明及び成績証明書を提出すること。 なお、日本の高等学校に相当する学校の卒業のうち学校教育年限の合計が12年に満たない者は、日本の文部科学大臣が指定した教育施設の修了証明書を合わせて提出すること。 日本語以外の証明書は日本語訳も提出すること。
③旅券の写し等	旅券の写しを提出すること。なお、在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出すること。
④住民票抄本等（県内に住所を有する該当者のみ）	**入学志願者本人か配偶者、又は一親等親族が令和４年４月１日以前から県内に住所を有する者は、合格した場合に入学料が軽減されるので、該当者の住民票抄本を提出すること。** なお、住民票抄本が提出されない場合、入学料の算定は県外在住者と同様に扱う。 また、配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、入学志願者本人との親族関係が確認できる戸籍謄本も提出すること。

（3）**出 願 先**

〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１丁目４番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課　　電話 098-882-5080（直通）

（4）**出願上の注意**

ア　出願後は、志願学科・専攻の変更を認めない。

イ　出願書類に記入漏れ、その他不備のある場合は受理しない。

ウ　入学願書等の記載事項に虚偽の記載がある場合には、入学後でも入学許可を取り消すことがある。

エ　**障がいを有する等の入学志願者との事前相談について**

障がいのある者等は、受験上及び修学上の配慮を必要とする可能性があるので、
令和５年１月19日（木）午後５時までに申し出ること。
また、申し出に基づき相談が必要となった場合は以下による。

（ア）相談の方法　　相談申込書（健康診断書等必要書類添付）を提出するものとし、必要な場合は、本学において入学志願者又はその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行う。

（イ）連　絡　先　　沖縄県立芸術大学事務局教務学生課
電話番号　（098）882－5080

（ウ）　本学がこれまでに実施した入学試験における配慮事項については、本学ホームページ『入試情報』において公表する。

5　受 験 票

（１）受験票は、本学にて出願書類受理後にマイページからダウンロードできるようになるので各自で印刷し、試験当日に必ず携帯すること。

（２）令和５年２月13日（月）までに、マイページから受験票がダウンロードできない時は、本学教務学生課に連絡すること。

6　受験上の注意

一般選抜の「第６ 受験上の注意」と同様の取り扱いとする（12～13ページ参照）。
また、**試験当日は、「本学受験票」と「旅券（パスポート）」の両方を必ず携帯すること。**

7　不正行為

一般選抜の「第７ 不正行為」と同様の取り扱いとする（13～14ページ参照）。

8　合格者の発表

（1）**合格者の発表**

令和５年３月６日（月）午後２時 に本学ホームページ（http://www.okigei.ac.jp）に掲載するとともに、本人あてに合格通知書及び入学者心得（入学手続書類）を郵送する。なお、本学への直接の問い合わせには応じない。

ホームページによる合格者等案内
（１）入学志願者状況案内　１月31日（火）10:00～２月14日（火）17:00
（２）合 格 者 発 表 案 内　３月６日（月）14:00～３月19日（日）17:00

（2）**追試験合格者の発表**

令和５年３月28日（火）午前10時 に受験番号を本学ホームページに掲載。
※合格者には入学意思の確認を行うので、**28日は確実に連絡できるようにしておくこと。**

（3）**追加合格者の発表**

入学手続終了後、入学定員に欠員が生じた場合には、３月28日（火）以降に「追加合格者の決定」を行い、本人に直接連絡（電話等）するので、**３月28日（火）から３月31日（金）までの間、確実に連絡できるようにしておくこと。**（連絡は大学から行い、受験者からの問い合わせには応じない。）

９　入学手続

（1）**入学手続期間　　令和５年３月８日（水）～３月15日（水）午後５時までに必着**

入学手続書類は、「書留郵便で速達」とし、令和５年３月15日（水）午後５時までの必着とする。
（注意）消印が３月15日以前であっても３月15日午後５時を過ぎて到着したものは受け付けない。

（2）**提出書類**

ア　誓約書兼個人情報の取扱いに関する同意書（本学指定様式）
イ　住民票の写し（または住民票記載事項証明書）もしくは、外国人登録原票記載事項証明書
ウ　入学料領収書の写し（Ａ４サイズでコピー）※原本の提出は不要
エ　その他（合格通知書とともに送付する入学者心得に詳細説明）

（3）**入学料の納入**

ア　**入 学 料**　　県　内　居　住　者　282,000円
　　県内居住者以外の者　512,000円
※県内居住者：入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は１親等の親族のある者。
イ　納入期限　　入学料は本学指定の納入通知書により入学手続時までに納入すること。
※入学料以外の授業料・実習経費・学外研究費については、20ページの「学生生活」を参照。

（4）**入学料の減免について**　　一般選抜と同様に取り扱う。（15ページ参照）

（5）**手続書類送付先**　　〒903-8602　沖縄県那覇市首里当蔵町１丁目４番地
沖縄県立芸術大学事務局教務学生課　　電話 098-882-5080（直通）

（6）**留意事項**

ア　**令和５年３月15日（水）**までに入学手続を完了しなかった者は、入学の意思がなく入学を辞退したものとして取り扱う。なお、入学を辞退する者は、入学手続期間内に入学辞退届（本学指定様式）を提出すること。
イ　本学への入学手続を完了した者は、これを取り消して、他の国公立大学に入学手続を取ることはできない。
ウ　いったん納入した入学料や授業料は、原則返還しない。

10　そ の 他

（1）私費外国人留学生の募集に関する上記以外の事項については、一般選抜の入学志願者に関する募集要項に定める事項に準じて扱う。

学　生　生　活

1　入学料及び授業料

（1）入 学 料　　県　内　居　住　者　282,000円
　　県内居住者以外の者　512,000円
　※県内居住者：入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する者、あるいは、入学の日（４月１日）の１年以前から引き続き県内に住所を有する配偶者又は１親等の親族のある者。

（2）授 業 料　　年額　535,800円　（内訳　前期分267,900円、後期分267,900円）
　納入期限　　前期授業料は各年度の４月30日まで、後期授業料は各年度の10月31日までに納入すること。ただし、納入期限が土・日曜日又は国民の祝日にあたる場合は、その翌日までに納入すること。

（3）入学料及び授業料の減免
　原則として高等学校の学業成績が3.0以上の者で、かつ、次の各号の一に該当する者を対象に、全額免除又は２分の１減額の可否を審査し決定する。
　①天災その他不慮の災害により、学費の負担に堪えられなくなった者
　②生活保護法（昭和25年法律第144号）による保護を受けている者と同一世帯内にある者
　③前記①、②のほか、特別の事情により学費の納付が著しく困難な者

2　授業料以外に必要な経費

（1）実習経費
　実習経費（４年間分）は次のとおりで、入学時に一括して納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。（※卒展経費含む）
　①絵 画 専 攻　　油画 300,000円　　日本画 320,000円
　②彫 刻 専 攻　　330,000円
　③芸 術 学 専 攻　　70,000円
　④デザイン専攻　　170,000円
　⑤工 芸 専 攻　　320,000円

（2）学外研究費
　各専攻とも２年次あるいは３年次に予定している必修科目の経費として、各専攻180,000円（芸術学専攻は160,000円）を入学時に納入し、過不足が生じた場合は入学後調整することになる。

3　奨学金制度

　本学の学生で、人物、学力ともに優れ、かつ、経済的理由により修学が困難と認められる者には、次の奨学金制度がある。

（1）日本学生支援機構奨学金（貸与・給付）
（2）（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団奨学金（貸与）（沖縄県出身者のみ）
（3）（公財）沖縄県立芸術大学芸術振興財団奨学金（給付）
（4）その他（地方公共団体、財団法人、その他奨学金制度の適用）

4　学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険並びに学研災付帯学生生活総合保険への加入

　学生教育研究災害傷害保険（以下「学研災」という。）は、学生が①講義、実験・実習等への正課中、②学校行事中、③前記①、②以外で大学の施設にいる間、④大学施設外で大学に届け出た課外活動を行っている間、⑤通学中、⑥学校施設等相互間の移動中に不慮の事故により傷害を受けた場合に、保険金を支給する全国規模の補償制度である。

　また、学研災付帯賠償責任保険（以下「付帯賠」という。）は、国内において、学生が正課、学校行事及

びその往復中で、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する。

上記の保険は、保険期間中に応じた少額の掛金を一度納入することにより、当期間中の災害に対し、治療日数及び災害内容に応じた補償がなされるので、万一の事故に備え、本学学生は全員加入すること。

なお、加入手続は、オリエンテーションの際に行う。

学研災付帯学生生活総合保険は、「学研災」及び「付帯賠」の正課・学校行事中を補償する保険では不足すると思われる、24時間補償の保険である。

「学研災」や「付帯賠」とは異なり、保険の加入手続き等は引受保険会社と直接行うこととなる。（加入にあたっては、「学研災」や「付帯賠」に加入している学生に限り加入できる。）

※「学研災」及び「付帯賠」保険に係る掛金（保険料）と保険期間

	掛金（保険料）合計金額 （４年間分）	保険期間
学生教育研究災害傷害保険 学研災付帯賠償責任保険	4,660円	４年

（注）この保険に関する照会は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課に行うこと。

５　教員免許状

教育職員免許法に定められた所定の単位を修得すれば、絵画・彫刻・芸術学・デザイン各専攻においては中学校教諭１種免許状（美術）と高等学校教諭１種免許状（美術）を、工芸専攻においては中学校教諭１種免許状（美術）と高等学校教諭１種免許状（美術及び工芸）を取得することができる。

６　個人情報の取扱い

（１）個人情報の利用目的について

出願及び入学手続きにあたって記入していただいた氏名、住所その他個人情報は、以下の事項に付随する事務処理を行うために利用する。

①入学試験実施（出願処理、受験票及び実施要項送付、試験実施）
②合否通知、入学手続き書類の送付
③学生の福利厚生に資する情報の提供
④学業および学生生活に関する管理、連絡および手続き
⑤大学の施設・設備の仕様に関する管理、連絡および手続き
⑥本人および保証人への連絡、送付する各種書類の発送
⑦個人を特定しない統計処理

なお、不要となった情報の確実な破棄をはじめとし、提出された個人情報は個人情報保護法に則った万全の体制で管理する。

また、進路指導上、教育上の必要に応じて、受験者の入試結果および成績概要、在学中の履修状況や進路状況等を出身高校にお知らせすることがある。その際は本学と出身高校において守秘を前提とした万全の措置のもとに行う。

（２）個人情報の第三者提供について

本学が取得した個人情報等は、以下のいずれかに該当する場合を除き、第三者へ提供、取扱いを委託することはない。

①利用者の事前の承諾を得た場合
②業務委託業者に対して、利用者に明示した利用目的の達成のために必要な範囲で個人情報等の取扱いを委託する場合
③法令の定めにより提供を求められた場合

（３）情報主体の権利尊重について

本学は、個人情報等に関する情報主体の権利を尊重し、情報主体から事故情報の開示、訂正もしくは削除、又は利用もしくは提供の拒否を求められたときは、社会通念や慣行に照らし妥当な範囲でこれに応じる。

7　その他

本学には、学生寮施設がないので、学生はすべて自宅通学又は借家による通学となる。なお、借家等の情報は、沖縄県立芸術大学事務局教務学生課において提供している。

入学後の授業等で使用するため、入学までにパソコン(又はタブレット等)及びインターネットに接続できる通信環境を整えておくことが望ましい。推奨される仕様については入学手続き時以降に周知する。

出願書類等一覧表【一般選抜（前期日程試験・私費外国人留学生選抜）】

氏名	

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（前期日程試験）出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。共通テスト成績請求票を貼付する）	□
2	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する）	□
	卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書を提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	□
3	（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）） 合格成績証明書	□
4	外国人は、旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	□
5	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	□

順序	私費外国人留学生選抜出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力）	□
2	最終学校の卒業証明書及び成績証明書等 （日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	□
3	旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	□
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	□

注１　この封筒は１人分のみとし、２人分以上を封入しないこと。

注２　受験番号欄（※）は記入しないこと。

※受験番号	

出願書類等一覧表【一般選抜（後期日程試験）】

氏名	

以下の書類を順序どおりにクリップでとめ、一番上に本票を添付し、封筒に入れること。

順序	一般選抜（後期日程試験）出願書類の場合	チェック欄
1	入学志願票（マイページよりカラー出力。共通テスト成績請求票を貼付する）	□
2	調査書（必ず出身高等学校長が作成し厳封したもの。出身高等学校より調査書が得られない者は以下の書類を提出する）	□
	卒業証明書及び成績証明書 （成績証明書が発行出来ない場合はその旨が記載された文書をて提出する。また、日本語以外の言語で作成されている証明書は日本語訳を添付する）	□
3	（高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者含む）） 合格成績証明書	□
5	外国人は、旅券の写し。在留カードを所持する者は表裏両面の写しも提出。	□
4	住民票抄本等（県内に住所を有する該当者） 配偶者又は一親等親族の住民票抄本を提出する場合、戸籍謄本も提出。	□
6	小論文（絵画専攻のみ）	□

注１　この封筒は１人分のみとし、２人分以上を封入しないこと。

注２　絵画専攻及び工芸専攻の課題作品は、出願書類とは別に郵送等にて提出すること。
なお、絵画専攻の小論文は出願書類に同封、作品資料は課題作品と共に梱包すること。

注３　受験番号欄（※）は記入しないこと。

※受験番号	

封筒貼付用紙※A4 で印刷してください

速　達

9 0 3 8 6 0 2

書留郵便及び速達料金の切手を貼り付けること

沖縄県那覇市首里当蔵町一－四

沖縄県立芸術大学事務局

教務学生課　行

書留

※日本国内からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日郵送発信局消印有効

※外国からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日午後五時必着

書留引受番号	

差出人	出願区分	1　一般選抜出願（前期日程試験） 2　私費外国人留学生選抜出願 ※該当する出願区分を〇で囲んでください。
	志望学部	美術工芸学部　　学科　　専攻
	住　所	〒　－　　（電話）（　）　－ （　方）
	氏　名	
	出身学校	都道府県　　学校 （電話）（　）　－

封筒貼付用紙※A4で印刷してください

速　達

9 0 3 8 6 0 2

書留郵便及び速達料金の切手を貼り付けること

沖縄県那覇市首里当蔵町一―四

沖縄県立芸術大学事務局

教務学生課　行

書留

※日本国内からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日郵送発信局消印有効

※外国からの出願は令和五年（二〇二三年）二月三日午後五時必着

書留引受番号	

差出人	出願区分	1　一般選抜出願（後期日程試験）
	志望学部	美術工芸学部　　学科　　専攻
	住　所	〒　　－　　（電話）（　　）　　－ （　　方）
	氏　名	
	出身学校	都道府県　　（電話）（　　）　　－　　学校